

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

■開催日時 令和元年6月8日(土) 14時～16時

■開催場所 新木近隣センター

■参加者 30名

■市出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長、
増田環境経済部長、古谷建設部長、伊藤都市部長、他13人

■懇談要旨

市 民：新クリーンセンター建設に伴い、費用の削減の為にもゴミの有料化や柏市
みたいにゴミ袋の販売はしないのでしょうか。

環境経済部長：クリーンセンターは令和4年に完成する予定です。有料化にはメリ
ットとデメリットがありますが、メリットは先ほどご発言いただきましたとおり
費用の削減になりますし、有料にすることで、ゴミの量が減ります。一方で有料
にすると販売するプラスチック製のゴミが増えたり、有料化により一部が不法投
棄される恐れがあります。ただ、市の財源も考えますと一部有料化することも念
頭に置いて、また、その方法に関しましても検討してまいります。

市 長：環境アセスが終わりましたので、今後具体的に協議を行ってまいります。
もうすぐ、建設会社も決まりますので、来年からは少しずつ工事が行われます。
プラスチックごみは、中国が受け入れなくなるようですが、新クリーンセンター
は熱エネルギーを売電するように考えております。プラスチックは化石燃料です
ので、より熱量が発生し、より多くの電気を得ることが出来ます。ただし、分別
の細分化は市民への負担が多く、これ以上は難しいと思います。国の状況や世界
情勢を踏まえながら、検討していきます。

市 民：文化交流拠点施設につきましては、詳細な資金が示されているようですが、
クリーンセンターの方は全くないのでしょうか。あと158億円が建設費にかか
るとのことですが、我孫子市ではいくらぐらいプールされているのでしょうか。
ある時期に158億円を1円から全て出さなくてはならなくなるのでしょうか。

環境経済部長：クリーンセンター建設費につきましては、158億円は上限であり
まして、これから下がっていくと考えております。国からは交付金をいただく予

定でおります。エネルギー回収型の施設ということと災害に出たごみを処分するというので、対象経費の2分の1ないし3分の1が補助金としてもらえます。

それと、市がプールしている16億円があります。残りを起債という形で借り入れしまして、数十年で支払っていくこととなります。ライフサイクルは20年間で112億円となりますので、15年から20年で耐用年数がきれるクリーンセンターの施設はその間に、改修していき更に30年まで活用していく考えでおります。平均すると5億円ぐらいが毎年かかってくると思われまます。

市 民：下新木踏切道についてですが、踏切の部分は2年かかるということで、これはしょうがないと思いますので、その間に356号側の方だけでも、早めに拡幅することは出来ないのでしょうか。

建設部長：これまで、356号線側を市で用地買収を2度行っており、土地所有者は、市や県に対して協力してくださっておりましたが、その際に今後拡幅はないような話をした経緯があり、交渉は難航しております。引き続き誠意をもって交渉してまいります。

市 民：最近、子供に対する虐待や事故が多い中で、ふれあい懇談会の中に教育長にも参加していただき、教育行政についてお話していただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

市 長：このふれあい懇談会は、市長が主催するものでありまして、教育委員会は、別組織です。私が命令して教育長を呼ぶことは、中立の立場上、それは出来ません。教育委員会が自らこういった懇談会を主催するかどうかは、分かりませんが、もし、行う事となった場合には、この懇談会とは別に開催されるものと思っております。この懇談会は、市長部局での懇談会であるということをご理解いただきたいと思います。ご意見につきましては、教育長に伝えます。

市 民：文化交流拠点施設を建てるにあたり、相当の金額がかかるようですが、借金など負の財産を残さないような方針をとっていただきたいと思います。1,000人規模のホールなどは、負の遺産になるのではないかと思います。

市 長：今、文化団体等から建設を求める声が少し多いと思います。将来、子ども達が利用できる文化施設は必要であるという事をご理解いただきたいと思います。ただ、いらぬという方もいらっしゃいます。この先、人口減少により、必要な

いという方もいらっしゃる、当市で建ててほしいという声もあります。文化団体の方々の多くは、発表の場が無い事や子供達も市内に発表する場がなく、柏市や取手市に行かなければならないという、たくさんの声がありました。このことはお伝えさせていただきます。ただ、こちらの意見が圧倒的多数の意見ではないことをお伝えいたします。

市 民：私は、歴史等を勉強している立場から、市の歴史の基本的な資料である古文書などを各所蔵家個人でもっていて、世代が変わる際には資料がなくなってしまうという事があります。歴史館的なものを、次の世代の為に文化交流拠点施設に組み入れてほしいと思います。

市 長：我孫子の歴史は古く、人が住み着いたのは4,000年ぐらい前からと言われております。文化財も多く出てきており、文化の市であります。文化交流拠点施設につきましては、それぞれの分野を個別に造るのではなく、建設することになれば、いろいろな文化を取り入れた施設にしたいと思っております。誰もが、ふらっと寄って楽しめる施設にしたいと思っております。それには、立地条件も含めて賑わいの拠点となる場所として、水の館付近が良いという調査結果が出ております。建設の賛否が分かれています中では、ひとつずつ集約していきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

市 民：けやきプラザの位置付けはどうなるのか。今、機能している部分の関係性について教えていただきたいと思っております。なお、文化交流拠点施設を建設することになりましたら、けやきプラザとの関係性はどうなるのでしょうか。もし、建設することになった場合は、音響のよいホールを造ってほしいです。その際に赤字経営にならないように計画を立てていただきたいと思っております。

市 長：けやきプラザは、1階から7階は県の施設です。8階から11階が市の施設です。いわゆる、合築という施設になっております。けやきプラザのホールは550席。湖北地区公民館は250席のホールがあります。よって、300席は必要ないというご意見もあります。そういった中で、市民プラザがありますが、そこは市が借りている施設です。プラザの維持費として毎年約8,000万円の賃貸料を支払っております。文化施設を建設した際には、市民プラザを閉鎖すれば8,000万円を他に使うことが出来るということになります。

市 民：以前、湖北台図書館を別に建設するという話がありました。私としては、その図書館と郷土資料室のようなものを合わせた施設を造っていただきたいと思いますが、現在どのような状況でしょうか。

市 長：現在の湖北台の公共施設であります、消防署、行政サービスセンター、湖北台保育園などは、URが湖北台団地を建設した際に、寄付していただきました。湖北台団地に入居が増えて人口も増えました。50年経っている中で湖北台図書館も含めて、別々の施設を建てるのではなく、一体的に建てる方向で皆様にお聞きしました。5年かかりましたが、湖北台図書館は、移動させないでほしいという声が圧倒的多数でした。湖北台図書館は、今の若草幼稚園のところに移転させようという計画を教育委員会の方で考えておりましたが、今のところ、それは白紙になりました。湖北台の皆様は圧倒的に移動させないでほしいという声があり、東側に移動すれば西側の方が、西側に移動すれば東側の方が遠くなるという事で湖北台の11の自治会が意見を集約できないという事になり、結論はでておりません。よって、老朽化が進んでいる消防署、保育園を先に進めさせていただいております。

市 民：年2回、1,000人が入るイベントをやっている市民サークルに所属しているものです。人が減少している当市だけで考えると、1,000人規模の施設はいらぬという事はわかりますが、当市だけでなく、他市からも人を呼べて、我孫子市の知名度を上げるなど、外にアピールできる文化施設を市民にもっとアピールしていただければと思います。

市 長：今ある建物では、湖北地区公民館では250席、けやきプラザのホールが550席ですが、けやきプラザのホールは椅子が収納できる多目的ホールとなっております。千葉県所有となっておりますので、柏市民や印西市民も利用できます。よって、けやきプラザはこれまでどおり活用するという位置づけの中で、我孫子市の税金を使って建てていくか、いかにいかという事を考えなければならぬと思います。その中で市外からどのように人を呼ぶかを考えていく必要があります。だからこそ、ただ単に駅前が良いということではなく、手賀沼の側にあって、いろんな人が利用し、いろんなものが含まれ、誰もが集まれる複合施設になればと思っております。ご意見ありがとうございました。

市 民：新木の佐々木歯科から左に入った道は、田んぼ沿いの都市計画道路に行く際のショートカットの道として、多くの車がスピードを出して走り抜けていきます。その道沿いには、小さなお子様が住んでいる住宅が多く立ち並んでおりますので、そこをゾーン30にしてほしいと思います。以前、市役所をお願いしたところ、違う場所にゾーン30の表示をしているようでした。それはそれで良いと思いますが、再度、私が言っている場所をゾーン30にさせていただきたいと思います。

市 長：ゾーン30につきましては、詳細な場所を後ほど確認させていただき、警察に報告したいと思います。なお、子ども達の安全という点では、下新木踏切道の工事につきましては、ある一定の期間は夜間の工事になるかと思えます。夜間に工事を行って、なるべく昼間の皆様の通行に支障がでないように、また子ども達の安全を確保出来るように、学校や自治会、現場に看板を立てるなどして、皆様に周知させていただきたいと考えております。その際は、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

市 民：現在免許証返納の声が大きい中で、あびバスですが、わざわざ新木団地の方を廻ります。そして、356号線に出て、1回も止まらないで湖北駅に行くのですけれど、それを改善する方法はないでしょうか。新木団地を廻らないようにするとか、356号線で何回か止まるとか出来ませんかでしょうか。

交通課長：新木駅と湖北駅を1台で新木野先廻りと新木台先廻りで、それぞれ1日に6本廻っています。これ以上本数を増やすしたりすることは現状では難しいと思います。今後、新たに今年度の計画を立てようと考えている部分がありますので、その中で検討していきたいと考えております。

市 長：一つの路線を一台でグルグル廻っているの、いろいろな場所を寄つてくるとバスの本数が少なくなり、最悪の場合、成田線に乗り遅れるというようなことにもなりかねません。便数を増やすのであれば、経路が短い方が良いです。でも、経路が短くなると、行かない場所がでてきてしまう。ということになります。いただいたご意見等を加味して考えますと、難しく担当も頭を悩ませているところでもあります。その中でもバス停については、阪東バスのバス停が既にあるところでは、阪東バスさんも難しいようです。そういったところは、協議をして

いかなければならないと考えております。ただ、バス停の場所やルートについては、バス会社やタクシー会社などともう少し協議していただくことになると思います。バス停を増やすことは単純ではないという現実の中で、ご理解いただければと思います。もう少し、阪東バスさんと話をさせていただきたいと考えております。

市 民：9人乗りの移動バスを佐倉市で試行運行していたと聞きましたが、その後どうなったのでしょうか。

交通課長：デマンド運行だと思いますが、佐倉市という話でしたが、身近なところでは、印西市さんで試行運転をしていると聞きました。佐倉市も以前デマンド運行をしておりましたが、今は廃止になったとの事です。経費が掛かり過ぎてしまうというところがあり、印西市で聞きましたところ、今年の1月から3月までで試行したということですが、一日当たり、乗客数が一人いないということで、0.6か0.7人あたりという状況です。こういった状況ですので、なかなかそれを利用するというのは、難しいと考えております。

市 民：356バイパス工事で久遠苑から日秀に出る部分の工事が始まっていて拡幅工事も始まっているようです。私たちは非常に喜ばしく思っておりますが、佐川急便のところは、狭くなっておりますが、そこはまだ工事が進んでいないようですので、進捗状況を教えてください。また、交差点のところですが、左右が見づらいので、そのあたりも解消されるのでしょうか。

市 長：356バイパスは県の事業です。残り550mほどでしたが、今年140mの工事を発注済です。残りの約400mは、用地交渉を進めており、今年度末までに完了する予定でいるとの事です。来年の春には、暫定で2車線になる予定で、久遠苑のところは、軽いくの字になっていますが、それが真っ直ぐになって、信号がある交差点になる予定でおります。信号機設置につきましては、千葉県警によりますと、道路工事完成後に行うとの話です。保健センター前の道路ですが、若草幼稚園を抜けて今の佐川急便の近くに繋がるようになります。ただ、若草幼稚園の移転が終わらないと進めませんので、こちらは、あと5年から6年後になると思われます。

市 民：地域会議のことですが、今月の23日に行われる地域会議に、買い物難民

者が主なテーマで、久寺家地区の方で行っているお助け隊や移動販売車を考えております。特に移動販売車につきましては、市としては、どのように考えているのでしょうか。

環境経済部長：移動販売の事例は全国にあるという情報は認識しております。ただ、現在、我孫子市で移動販売を行う事業者はおりません。いまのところは、情報収集に努めているということであります。そういった中でコンビニさんが行っているところもございますので、需要と供給の方を確認しながら、状況を見てまいります。

市 民：356号線、田口医院の前ですが、バス停があるので、道路を横断するために横断歩道の白線を引いてほしいです。高齢者になってくると、視力の衰えもありますので、見えにくくなります。また、消えかけているところは特に見えないので、引き直しをしていただきたく、よろしく願いいたします。

建設部長：ふれあい懇談会終了後、担当の職員に詳しい場所を教えてください。

市 長：信号、横断歩道については、警察の業務であります。塗り直しなどは、市が行う形をとりたいと思っておりますが、県警の承諾が得られません。県会議員と一緒にお願いしたいと考えております。なお、警察も予算が確保できないと執行出来ません。ただ、要望は行って参りますので、後ほど場所の確認をさせていただきます。

市 民：高齢者事故が多い中で、高齢者の免許証自主返納について免許を返納すると、移動にかかる公共交通機関の経費が多くて大変だとよく言われますが、車の維持費をタクシー代に代えれば、掛かる費用の差はそれほどではないと聞きました。ところで、我孫子市は返納者に補助的な措置をしていますか。

交通課長：免許返納の際には、交通課に申請をしていただくとタクシー割引券2,000円とバスの半額券を2年分、お渡ししております。